

第 2 学 年 道 徳 学 習 指 導 案

日 時 平成 1 6 年 1 1 月 2 6 日 (金) 5 校 時

場 所 2 年 B 組 教 室

対 象 2 年 B 組 (男子 1 8 名 女 子 1 5 名 計 3 3 名)

指 導 者 教 諭 金 子 友 恵

1 主 題 名 生 命 の 尊 重

2 資 料 名 た っ た ひ と つ の た か ら も の (明 治 生 命 C M か ら) ~ 息 子 秋 雪 と の 六 年 ~

3 主 題 設 定 の 理 由

(1) ねらいについて

中学生の生活様式も変化し、自然体験や人との関わりの少なさから、生命あるものとの接触が減り、生命の尊さについて考える機会を失っている。そのためか、生命軽視の行動が見受けられる。

生命は、かけがえのないものであって、決して軽々しく扱われてはならない。生命あるものはお互いに支えあって生き、生かされていることに感謝の念を持てるようにしたいと思い、本主題を設定した。

(2) ねらいにかかわる生徒の実態

明るく元気な生活を送っている。各行事や日々の活動を通し、他との関わり方や仲間との協力について学んできているが、個性的な生徒が多く、感情や衝動の赴くままに行動することがある。何も考えず相手を傷つける言葉を言ったり、生命軽視の軽はずみな言動を発したり、他と違うことを批判したりする事もある。そこで、自他の生命を尊重する気持ちや思いやりの気持ちを育てたい。

(3) 資料について

本資料は、1992年(平成4年)10月19日にダウン症児として生まれた加藤秋雪君と、その家族の6年間の記録をとおして、命の尊さを感じさせる資料である。生命はかけがえのない大切なものであって、生きている事のありがたさを深く思い寄せる事が出来る。自らの生命の大切さを自覚させ、他の生命を尊重する気持ちを考えさせたく、本資料を用いたい。

4 指 導 に あ た っ て

この資料は、ダウン症という病気を持った子の親の思いを扱ったものである。病気についての知識がないので、簡単な説明を行い、病気に対する感情を引き起こす。親の手記から、親の子供に対する愛情を感じ取らせ、命あるもの全てが大切な存在である事を感じさせたい。また、生命あるものは互いに支えあい生き、生かされている事に感謝の気持を持てるよう指導していきたい。

5 本 時 の ね ら い

生命の尊さについて理解を深め、かけがえのない自他の生命を大切にしようとする心情を深める

6 本時の展開

段階	教師の働きかけ	時間	期待する生徒の反応	指導上の留意点
導入	1 詩を範読していく。 感想を聞く。	10分	かわいそう 頑張っているな～ 命って大切だな～	前時の道徳カードを配布し、感想を発表させる。
展開	命について考えよう			
	2 お腹の中の子がダウン症であると知った時の、お母さんの気持ちはどうだったか。 3 産むかどうか迷っているお母さんをどう思いますか。 4 この家族にとってなくてはならない大切な存在とを感じるようになったのはどうしてだろう。 5 「かわいそうじゃない」といったお母さんの言葉にはどんな思いや願いが込められていると思いますか。	30分	「なんで私の子が!!」と、ショックだったと思う。 本当に育てられるだろうか、そして生きていけるだろうかと不安だったと思う。 大切な命なのに、迷うのはひどいと思う。 育てても長生きしないし、家族の苦労を考えると、お母さんの気持ちはわかる。 秋雪君の頑張りに励まされている。 秋雪君から学ぶことが沢山あったからだと思う。 みんな同じ、大切な命なのだからかわいそうではない。 一生懸命に生きようとする姿が、家族にも力を与えてくれているから。 生きることの大切さを教えてくれた。	道徳カード お母さんの複雑な気持ちを考えさせる。 道徳カード なぜ迷っているのか考えさせる。 道徳カード お互いに支えあって生きていく事に気付かせたい。 道徳カード 自他の生命を大切にしようとする気持ちを持たせる。
終末	6 ビデオ 7 今日の授業で感じたこと	10分	映像を見る。 どんな境遇であれ一生懸命生きることが大切だと思った。 親の愛情の深さを感じた。 命の尊さを感じた。	ビデオ 道徳カード 自己の生命に対する有り難みを感じさせたい。また、生かされている事にも感謝の念を持たせたい。
	8 教師の説話			

(手記)

1992(平成4)年、3月7日。秋雪がお腹にいることがわかりました。待望の赤ちゃんです。しかし・・・障害があるかもしれないと言われ、染色体の検査をすすめられました。ダウン症です。家族のことを考えると産むのをよそうかなと思いました。主人とも何日間も話し合いました。産まれてくる本人のことや、またその子どもを育てていく上での苦勞も考えるとなかなか結論が出ませんでした。

数日間話し合った結果、せっかく授かった大切な命なのだから産む事に決めました。生まれてからもやはり身体的、知的障害があるため苦勞はたえませんでした。

しかし今では、秋雪は、私たち家族にとってなくてはならない大切な存在だと痛感しています。

ある日、近所の子どもが

「おばさん、秋雪ちゃんはかわいそうだね。」と言いました。

その時私は、

「秋雪は、かわいそうではないのよ。ちょっと他人より不便なだけよ。」と答えました。

わが子を同情の目で見たくはありません。同じ人間、同じ仲間として受け入れてくれる事を望んでいます。ちょっと不便なだけなのです。

たったひとつのたからもの

平成4年10月19日
神様からの宝物が届きました

生まれた季節の「秋」と
主人の好きな「雪」をあわせて
「あきゆき」と名づけました

生後1カ月「ダウン症」と判明
合併症が原因で余命1年と告げられる
「風邪をひいたら最後だ・・・」
と言われ、いつも気をつけていました

それでも少しずつ大きくなっていく姿をみるよろこび
何を見ても
何をしても
あなたは嬉しそうでした

3歳「いずみの学園」入園
運動会1歩1歩ゴールを目指した

1日1日一緒にいられることが幸せ
いつでも嬉しそう
こっちまで楽しくなってくる
みんなとがんばったね

生きる・・・
たった精一杯生きる
自分の時間をしっかり生きる

「秋雪」と過ごした6年の日々
数々のことを知りました
あなたに出会わなければ知らなかったこと・・・
ありがとう

道徳カード 「たったひとつのたからもの」

2年 B組 名前 _____

1、お腹の中の子がダウン症であると知った時の、お母さんの気持ちはどうだったか。

2、産むかどうか迷っているお母さんをどう思いますか。

3、この家族にとって、なくてはならない大切な存在とを感じるようになったのはどうしてだろう。

4、「 _____ 」、と言ったお母さんの言葉にはどんなおもいや、願いが込められていると思いますか。

5、今日の授業を通して感じたこと、考えた事を書こう。

「たった一つのたからもの」

2年B組 名前

1 あなたのたった一つのたからものは何ですか

2 詩の感想

3 詩を読んだの疑問・考えてみたい事

たった一つのたからもの

感想

- ・ かわいそう
- ・ 頑張っているな
- ・ 命って大切だな

命について考えよう

1992（平成4）年、3月7日。秋雪がお腹にいる事が分かりました。待望の赤ちゃんです。しかし：：障害があるかもしれないと言われ、染色体の検査をすすめられました。ダウン症です。

ダウン症であると知った時のお母さんの気持ちは

- ・ ショックだったと思う。
- ・ ビックリしたと思う。

家族のことを考えると生むのをよそうかなと思いました。主人とも何日間も話し合いました。生まれてくる本人のことや、またその子どもを育てていく上での苦労も考えるとなかなか結論が出ませんでした

迷っているお母さんをどう思いますか

- ・ 気持ちかわかる
- ・ ひどいと思う

数日間話し合った結果、せつかく授かった大切な命なのだから産む事に決めました。生まれてからもやはり身体的、知的障害があるため苦労はたえませんでした。しかし今では、秋雪ちゃんも、私たち家族にとってなくてはならない大切な存在だと最近痛感しています

大切な存在とを感じるようになったのはなぜ

- ・ 秋雪君に励まされている
- ・ 秋雪君から学ぶことが沢山

ある日、近所の子どもが

「おばさん、 ちゃんはかわいいそうだね。」と言いました。その時私は、「秋雪ちゃんは、かわいそうではないのよ。ちよっと他人より不便なだけよ。」と答えました

どんな思いや願いが込められていますか

- ・ みんな同じ
- ・ 家族にも力を与えてくれた
- ・ 生きることの大切さを教えてくれ

わが子を同情の目で見て欲しくはありません。同じ人間、同じ仲間として受け入れてくれる事を望んでいます。

8、資料の分析

(資料名) たった一つのたからもの

(ねらい) 生命の尊さについて理解を深め、かけがえのない自他の生命を大切にしようとする心情を深める

主な場面	登場人物の行動、考え方、感じ方	基本発問	
待望の赤ちゃんに異常があることを知る	・育てられるだろうか ・生きていけるだろうか	不安 ショック	お腹の中の子がダウン症であると知った時のお母さんの気持はどうだったか
主人と何日間も話し合った結果産むことにした	・せっかく授かった大切な命なのだから産む	ひどいと思う 気持ちがわかる	産むかどうか迷っているお母さんをどう思いますか
大切な存在	・なくてはならない大切な存在と感 じるようになった	お互いに励ま され支えあっ ている	この家族にとってなくてはならない大切な存在と感 じるようになったのはどうしてだろう
近所の子供の言ったことば	・かわいそうじゃない ・同情の目で見たくはない ・同じ人間、同じ仲間として受け入れ る	どれも同じ命	「かわいそうじゃない」と言ったお母さんの言葉にはどんな思いや願 いが込められていると思いますか

共通課題

命について考えよう